

わげんあいご 和顔愛語

2007
VOL.9

真生会富山病院だより



最近、格差社会が問題になっています。懸命に働いても生活が苦しい、ワーキングプアと呼ばれる人達が増えているとのこと。一方、医療の現場では、リハビリ日数の制限、療養病床の削減が決定され、身体の弱い人にとって厳しい制度改革が進んでいます。全国的な医師・看護師不足。特に地方では、医療の崩壊が始まっているとも伝えられ、まさに激動の日本、激動の医療という印象があります。しかし、生物は全て、逆境の中でしか進化しないと云われるように安んじているのは何も見えてはきません。真剣に考えることで、物事の本質が見え、新しい発想が生まれてくるのです。厳しい社会情勢の中ではありますが、本年も変わらず、皆様の健康を応援できる、安心と満足の医療を目指したいと思います。

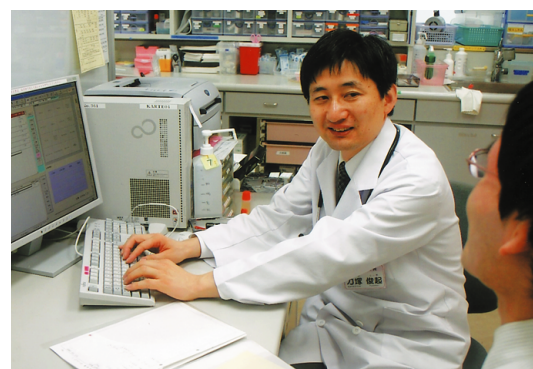
真生会富山病院 院長 陣井 理



透析治療について、二村内科医師と、チューリップテレビさんの取材の様子



「総合診療システムの構築」



電子カルテ「ウニカルパス」
情報室 内科医師
土田 史高 堀田 孝裕

子どものむし歯予防

はな さき ひろ こ
歯科医師 花崎 広子



人工透析治療がスタート

最先端の医療技術で安心の治療を 内科医師 二村 明広

ご案内

診療案内

診療科
内科・消化器科・外科・小児科
整形外科・耳鼻咽喉科・皮膚科
眼科・心療内科・精神科・神経科
麻酔科・リハビリテーション科
放射線科・泌尿器科・歯科

診療日・外来受付時間

平日 午前8時30分～午前11時30分
午後4時30分～午後7時30分
内科のみ) 午前8時30分～午後7時30分
土曜日 午前8時30分～午前12時
休診日 日曜日、祝日、土曜日午後

全科往診在宅診療

24時間救急診療

真生会富山病院では、診療時間外の急な病気に対し、年中無休で24時間日直医が対応しております。

平日 午後7時30分から翌朝9時まで
土曜日 午後12時から
日・祝日 救急診療24時間対応

救急診療受付電話
☎0766-52-2156

来院する前になるべくお電話を。
保険証は忘れずお持ちください。

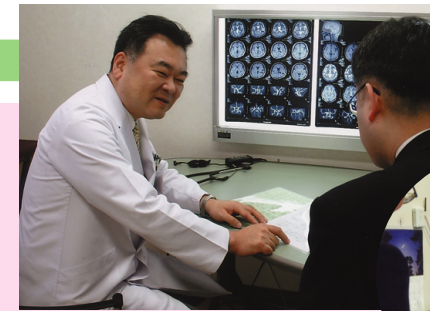
保険証は、毎月提示をお願いしています。必ずご持参ください。

院外処方せん

当院では、原則として「院外処方」としております。当院が発行した「処方せん」に基づき、調剤薬局でお薬をお受けとります。

INFORMATION

健診窓口



健康管理のお手伝いをさせていただきます。
健診窓口は、医師2名、保健師1名、看護師1名、事務2名で業務を行っています。主な仕事の内容は人間ドックや企業健診を受診される方の受付、保健指導、結果作成等です。スタッフ間の申し送りを密にし、受診された皆様からの要望や苦情は必ず次に生かせるよう書式や体制をその都度見直して、毎日最良の体制となるように心がけています。最近ではご夫婦で人間ドックを受けられる方が増えてきました。長く共に生活しているパートナーの体の状態を知ることはとても大事なことです。妻の体の弱い部分があったので、いたわってゆきたいと言われるご主人に、奥様も同感です。と仰っていたご夫婦が印象的でした。また平成20年度から40歳以上の生活習慣病健診、保健事業が義務化されます。社員の健康管理は企業の責任という時代に入りました。健康に配慮する会社に優秀な人材が集まると言われており、日本でも同様の傾向が強まっています。そんな企業からの要請にもキチンと応えていけるよう努力いたします。



健診窓口スタッフ

新規事業拡張につき スタッフ募集

正看護師 10名 歯科衛生士 1名
視能訓練士 若干名 歯科助手 1名

院内保育施設あります。
応募資格/免許有資格者(取得見込み者を含む)
勤務時間等、詳細はお問い合わせください。

スタッフ募集に関するお問い合わせ
TEL 0766-52-2156 人事担当/吉田

糖尿病・肝臓教室 開催のお知らせ

糖尿病 肝臓病の基礎知識、日常生活の注意点、食事など毎回異なる内容を、医師、看護師、管理栄養士などがそれぞれの立場から説明いたします。糖尿病、肝臓に不安をお持ちの方はもちろん、興味のある方、ご家族の皆様もお気軽にご参加ください。

糖尿病教室は、毎月、第2第4曜日 午前9時30分～午前11時
肝臓教室は、毎月、第3日曜日 午前10時～午前11時
新館5階大講堂で開催されます。

糖尿病・肝臓教室に関するお問い合わせは...
TEL 0766-52-2156 新館1階 総合受付 まで

射水市消防本部の協力のもと消防避難訓練を実施

昨年11月15日(水) 射水市消防本部の協力のもと、約15名の職員が参加して、火災発生時の通報連絡、初期消火、入院患者様の避難誘導及び梯子車による逃げ遅れ患者様の救出訓練(公設消防隊による救出訓練)を行いました。万が一の際、「患者様の安全は私が守る」との強い信念と意気込みを感じることで実践しながらの訓練を展開しました。



やすらぎのひとときを楽しんで 「年末コンサート2006」開催

年末の忙しい中、「年末コンサート2006」が開かれ、入院、外来患者様、職員ら約200人がやすらぎのひとときを楽しみました。内科の刀塚先生、心療内科の明橋先生、他職員が中心になって毎年開催され、今回は、内科の吉田先生や、患者様、業者さんからの出演もあり、アットホームで心の通うコンサートに「楽しかった」「元気をもらった」などの声が聞かれました。



医療法人 真生会
真生会富山病院

〒939-0243 射水市下若 89-10 TEL 0766-52-2156 FAX 0766-52-2197
http://www.shinseikai.jp



和顔愛語をモットーに安心と満足の医療をめざして

身体を悪くしておられる患者さんは精神的にもつらい状態にあるわけですから、
 どちらも一緒に癒すことで幸福な状態に戻してさしあげたい、
 それが医療に携わる者の使命だと考えています。

真生会富山病院

理念

仏法に説かれている自利利他の精神に基づいて、安心と満足の医療をめざします。

基本方針

- 患者様本位の医療を実践します。
- 24時間救急診療体制をとり住民の皆様の健康と生命を尊重する病院組織を築きます。
- 在宅療養を、全科往診で支援します。
- 各科の特徴を活かした良質な医療を提供できるよう努めます。

職員信条

真生会は、真実の医療に生きる会でありそれは私どもの職員信条に表されております。

- 1 真生会職員は、苦しみを除き、幸せを与える抜苦と楽を目的と致します。
- 2 真生会職員は、正確に迅速に確認第一を心がけ日々医療サービスの向上に努力致します。
- 3 真生会職員は、苦しむ時こそ和顔愛語に努めます。
- 4 真生会職員は、和することをもって尊しとします。

まず、最初に、医療の決して忘れてはならない目的を明らかにし、続いてその目的を果たす為に、医療人として大切な3つの心構えをかかげております。



院長
 整形外科医師
 駒井 理

(順不同)

地域の皆様の健康を スタッフ一同、全力で取り組んでまいります。

総 務部職員個々の力は、去年一年間で大きく向上致しました。これを効果的に結集し、さらに付加価値を高めたいと思います。

総務部長 吉田 充寿

看 護師は、ケアのコントローラーと言われますが、看護師長も、患者様・他部署・スタッフとのコントローラー。連携できる、調整役を発揮できる師長をめざします。

看護部部長 (わかば病棟) 加藤 礼

今 年は、電子カルテが稼働します。十分に準備して、電子カルテは便利だと言ってもらえるように整備します。

医局長 外科医師 本多 正治

絵 本を通してことばを豊かにし、子どもの夢をひろげられるよう、相手の立場を理解し、一人一人の保育士の和を保つようお互いに努力していきます。

保育課長 橋 真知子

パ ッドサイドで役立つ知識の一つでも多く蓄積してゆきたいと思ひます。音楽療法も続けたいと思ひます。

内科医師 (呼吸器) 吉田 良昌

今 年は、「看護+」の技を何か1つ身につけたいと思ひています。

訪問看護ステーション 訪問看護師 中井 ともこ

地 域の皆さまの「お肌の番人」として、皮膚の健康を支援いたします。

皮膚科医師 花川 博義

患 者様が何をお困りに耳を傾け、それをできるだけ解決することをモットーにします。短い診療時間を有効に。

眼科医師 館 奈保子

内 科は、今年、発展的機能分化の年になります。新たに2名の医師を迎え、更に幅広い病気に対応できる体制づくりを進めて行きます。

内科医師 (血液) 刀塚 俊起

他 部署との連携を密にして、個々の患者様に適した看護が提供されているか、質の評価をしながら前進していきたいです。

看護部部長代行 酒井 貴子

患 者様やご家族の悩みや心配事に対して、親身になって耳を傾け、少しでも気持ちを持ち上げてさし上げられるよう努力いたします。

リハビリテーション課 副主任 大川 千恵

よ り良い医療に不可欠な情報」の力を活かせるシステムづくりを目指します。

情報室室長 坂根 俊介

電 子カルテ、オーダリングシステム導入に向け、協力体制を整え稼働実現を目指して働きかけて行きます。

医事課長 布川 鏡子

一 人ひとりの「やりたいこと、やるべきこと、やれること」を把握・明示して安全で活力ある職場作りに努めます。

看護部部長 (手術室) 野 吾 みち子

皮 膚表面に出現した皮膚病変について、患者様と共有した言葉で理解し合える場を作りたいものです。

皮膚科医師 柳原 誠

昨 年、新たに誕生した診療支援課では、医師の学術支援などを中心に、三名で頑張ってきました。今年はいよいよ電子カルテが稼働し軌道に乗ると思われませんが、微力ながら全員で協力していきたいと思ひます。

診療支援課主任 太田 京子

歯 科医師としても、医事管理部としても、患者様の立場に立った医療の実践を貫きたいと思ひます。

医事管理部長 歯科医師 稲田 雅一

全 職員のやる気を出せる、病院の発展計画を作成し、実行し、更新して行きます。

副院長 耳鼻咽喉科医師 真鍋 恭弘

本 年は真生会の将来構想を構築する年です。電子カルテ導入、DPC参入と怠りなく準備に尽力したいと思ひます。

副院長 眼科医師 橋本 義弘

患 者様・住民の皆様から『健康のことなら真生会』と安心して選んでいただける病院として行きます。

事務局担当理事 公認会計士 館 修



昨 年12月より透析室の診療に当たっております。現在は1クールですが、市民の期待が高い夜間透析を実現したいと思っております。

内科医師 二村 明広
(腎臓)

昨 年12月より透析室がオープンしました。患者様に安心して透析を受けていただくことができるよう環境の整備、技術面の向上を目指してまいります。

看護部主任 越前 清美
(透析室)

今 年も、ニコリ微笑むことが出来るようにお手伝い致します。苦しい時こそ、和顔愛語を実践します。

歯科医師 花崎 広子

心 をこめた看護を患者様へお届けできるよう、身も心も知識も磨いていける年にしたいと思っています。

看護部主任 福光 佐奈加
(外来)

今 年は、DPC参入が本格的になる年だと思っております。適切に推進したいと思っています。

経理課長代行 佐々木 誠

患 者様のニーズを尊重した看護計画の立案によって、信頼関係を保ち、その結果が患者様の満足度の向上につながるよう、頑張りたいと思っております。

看護部主任 川崎 華子
(さくら病棟)

患 者様が安心して治療に専念して頂けますよう、本年も経済的・社会的・精神的側面から支援させていただきます。

医療福祉相談室主任 阿部 素子
医療ソーシャルワーカー

内 視鏡室は、昨年より、水曜・木曜の夕方に胃カメラを行っております。本年は、他の曜日にも夕方内視鏡枠の拡充をはかっていきたいと思っております。

消化器科医師 松村 孝之

て いねいな説明と体にやさしい手術をモットーとして、患者様中心の外科診療に全力を尽くしたいと思っております。

外科医師 古谷 正晴

明 るい笑顔で患者様・ご家族に安心していただき、信頼される医事のエキスパートを目指したいと思っております。

医事課副主任 前川 仁美

電 子カルテ導入へ柔軟に対応し、病棟ではお薬を通して患者様に安心とご満足をお届けしたいと思います。

薬剤課副主任 前川 早苗

各 部署のリスクマネージャーと協力して真生会富山病院の医療安全により一層取り組んでいきたいと思っております。

医療安全管理室副主任 鎌仲 俊晴
薬剤師

看 護の魅力と価値を感じられる職場環境の中で、患者様の視点に立った安全・安心で質の高い看護の提供を目指します。今年も宜しくお願いします。

看護部主任 大浜 保子
(さくら病棟)

患 者様が安心して診察を受けられ、満足してお帰り頂けるよう接遇向上に努めたいと思っております。

医事課主任 竹垣 幸恵

専 門領域の知識を深め、新しい技術の習得を目標とします。

耳鼻咽喉科医師 扇 和弘

入 院時より患者様、家族とコミュニケーションを取り、何が問題か、何が必要かを的確に判断し質の高い看護を提供したいと思います。

看護部主任 大浦 春美
(わかば病棟)

患 者様に100%満足して頂ける看護をお届けできるように、連絡・調整を心がけ、チームワークの連携を強化していきます。

看護部副主任 庄司 伸江
(手術室)

今 年も、痛くない麻酔、長期予後のよくなる麻酔を目指します。

麻酔科医師 濱田 富美男

患 者様が安心、満足できるような環境作り、姿勢、対応を心がけていきたいと思っております。

看護部副主任 三箇 美奈子
(わかば病棟)

最 近テレビなどでも取り上げられている高血圧や糖尿病、高脂血症などの生活習慣病は、早い段階での治療が大切です。心配な方はお気軽にお尋ねください。

内科医師 小林 隆洋

年々増え続ける脳血管障害・認知症の診療、脳ドックによる予防医療を集中的に行ってまいります。

内科医師 太田 雅也
(神経内科)

今 年は、循環器の検査を更に充実してゆきたいと思っております。皆様のご期待にお応えできますように、頑張ります。

内科医師 堀田 孝裕
(循環器)

体 調に気をつけて常に笑顔で患者様に接し、会計に関しても「正確、迅速、確認第一」を心がけ、ご迷惑をおかけしないよう頑張ります。

医事課担当 田中 美栄子

こ の看護師に出会えて良かった」と思ってもらえる看護師をめざしています。今、手話も勉強中です。お気軽に声をかけてください。

看護部副主任 五十嵐 まゆみ
(外来)

住 み慣れた家で、安心して生活ができるよう、24時間対応しつつも患者様に寄り添った看護をお届けしたいと思います。

訪問看護ステーション 川筋 博美
副主任

患 者様と話をする時は目と目を合わせ、患者様の思いに立った対応を心がけ、お一人お一人に対応させていただきます。

医事課主任 清水 順子

正 確なデータを診療側に提供する為、精度管理を充実させ、そのために必要な整理整頓をしっかりと行うことを目標とします。

中央検査課課長 成瀬 智

建 物や設備の維持管理はもちろんのこと、さらに待合や各部屋の環境の向上にも力を入れ、患者様から「良くなったね」と評価頂けるように頑張りたく思います。

管理課長 松田 雅樹

電 子カルテ導入の年となりますので、課内の足並みをそろえ、新しい目標に向かって少しでも向上していきたいがんばります。

放射線課課長 平田 昭美

今 年も「正確に迅速に」を心掛け、待ち時間を短くし、患者様に満足していただけるように日々向上していきたいと思っております。

医事管理部長補佐 寺井 恵美子

薬 のあるところに薬剤師あり」患者様が薬について不利益を受けることのないよう、薬剤師全員で取り組んでまいります。

薬剤課課長 野島 恵

昨 年、歯科では一足早く、電子カルテが導入されました。スタッフ全員本当によく頑張り、乗り切ったと思います。今年もより一層前進致します。

歯科衛生課士長 稲田 まどか

患 者様を笑顔でお迎えし、「真生会に来て良かった」と思ってもらえるような医療サービスを心掛けます。

医事課副主任 上子 知春

大 丈夫ですよ」と、自信と責任をもってお伝えできるよう、今年も絶えず、診療技術と心を磨いてゆきます。

消化器科医師 河相 寛

患 者様に喜んでいただくことが私たちの喜び」そのことをどうしたらもっと豊かにできるか、みんなで考え実践していきたいと思っております。

サービス支援室室長 木倉 スミ子

新 たに稼動した医事会計システム、今後稼動予定のオーダーリング・電子カルテが、より使いやすいシステムになるよう努力します。

医事課副主任 山本 洋介

患 者様とのコミュニケーションを通し、より良い看護・技術を提供し笑顔になって頂けるよう援助します。

看護部主任 (内視鏡室) 楠 早苗

今 年は、専門分野の肩、膝手術をさらにスキルアップすること、病院になってからの骨折手術の予後などをまとめ、今後の診療にフィードバックしてゆきたいと思います。

整形外科医師 太田 悟

今 年も、いじめや虐待による子どもの被害が少しでも少なくなるよう、診療、啓発に力を注ぎたいと思います。

心療内科医師 明橋 大二

今 年も正確で迅速な仕事を心掛け、今まで以上に患者様に信頼して頂けるように努めていきたいと思ひます。

医事課副主任 土谷 佳子

病 を未然に防ぎ、心身ともの健康を応援して、地域住民の皆様から愛される病院を目指します。

内科医師 (東洋医学) 清水 和彦

患 者様に安心して手術を受けていただけるように、手術前の説明をしっかりと行っていきたく思ひます。

看護部主任 (手術室) 河相 てる美

今 年は「連携・正確に確認・働きやすい環境作り」を目指します。また、外来の待ち時間の改善に向けて各科の連携をはかっていきたいと思ひます。

看護部主任 (外来) 馬場 愛子

地 域の皆様を療養生活を支援していただけるように気持ちを新たにがんばっていきたく思ひます。

看護部副主任 (ケアマネジャー) 能町 小百合

今 年は飛躍の年。消化器診療、栄養サポートチーム (NST) の質の向上に尽力致します。

消化器科医師 真野 鋭志

連 携を密にして、心の行き届いた手術室看護を提供し、患者様に安心して手術を受けていただけるように努めます。

看護部副主任 (手術室) 明元 佳子

今 年は、より一層地域の皆様のニーズにお応えし、お役に立てるよう、泌尿器科を発展させたいと思ひます。

泌尿器科医師 横山 豊明

ま たお世話になりたい」と思っていただけのように、心のこもった温かい看護をお届けしたいと思ひます。

看護部副部长 木田 真由美

患 者様に安心・ご満足頂く医療サービスを提供できる様、正確な業務、和顔愛語に努め頑張りたく思ひます。

医事課副主任 浦野 千絵

さ まざまな法務手続き、各関係行政への対応、広報業務として地域への保健活動(糖尿病教室等)や患者様への情報提供など多種にわたる業務を正確に実行していきます。

庶務課長 佐伯 義昭

患 者様が来院され、帰宅されるまで医事課が関わっています。そのお一人お一人に安心、満足を提供できるように頑張りたく思ひます。

医事課担当 石黒 外茂子

患 者様の満足を最優先に考え、それを具現できる技術を磨きます。

歯科医師 患 森 登

患 者様が安心して、満足のいく入院生活を送られ、不安なく退院を迎えて頂くことができるよう、スタッフ皆でサポートしていきたく思ひます。

看護部部長 (さくら病棟) 上條 孝子

西 洋医学だけでなく和漢療法にも精通して「患者様の満足」を第一に努めてゆく一年にしたいと思ひます。

消化器科医師 平名 浩史

快適、効率的で質の高い医療環境をつくる

総合診療システムの構築

開院以来、真生会富山病院が培ってきた豊富なノウハウやワークフローを生かし、独自に構築した「総合診療システム」集約、共有された情報のもとにチーム医療を推進、医療の質の向上と患者様サービスのより一層の向上をめざしています。

電子カルテ

真生会富山病院では、今年5月から本格的に電子カルテの導入が始まります。電子カルテとは、今まで医師が紙のカルテに手書きで記入していたものを、パソコンに入力して記録されていくものです。電子カルテの導入に先行して、2月14日には、処方オーダーリングシステム、3月14日には、検査オーダーリングシステムが開始されます。

「処方オーダーリングシステム」が導入されることにより、院内処方の場合、これまでは医師がカルテに処方内容を記入しそれを医事課職員がコンピューターに入力してデータを送っていたものが、導入後は診察室で医師が薬の処方を行った時点で即座に院内の薬局にデータが送信され、現在よりも早い段階で薬剤師が調剤を始めることができるため、お薬の待ち時間が短縮されます。

院外処方の場合も、これまでは医師がカルテを書き、それを医事課職員が入力しそれを医師が確認した上で、処方箋を印刷し患者様にお渡ししていましたが、導入後は、診察室で医師が患者様にその場で院外処方箋をお渡しします。



情報室 土田 史高

どちらの場合も現在より患者様の待ち時間にとまなご負担を軽減できると期待されています。

「検査オーダーリングシステム」でも、医師が診察室からパソコンで検査の指示を出した時点で検査室に直接検査の指示が伝達されますので、検査伝票を運搬する手間が省かれ、待ち時間の短縮につながるとともに、手作業による記載ミスや記載漏れのリスクを軽減し、医療安全の向上に役立つと考えています。

また、今までのカルテは各科ごとに分かれていましたが、電子カルテでは病院全体のカルテが統一されます。他科で受けた診察の内容を合わせて診察することにより、幅広く正確な情報をもとに質の高い医療の提供につなげていきたいと思ひます。

新しいシステムが軌道に乗るまで、しばらく時間がかかることも予想されます。万全の体制で患者様に安心とご満足をお届けできるよう、職員一丸となって取り組んでまいりますので、ご理解の程、よろしくお願ひ致します。

クリニカルパス委員会活動報告

クリニカルパス

「クリニカルパスって何？」皆さんには、耳慣れない言葉だと思ひます。「クリニカルパス」は以下パスと略します)とは、簡単に言いますと、入院患者様の治療工程を記した工程表を言います。喻えて言いますと、自動車を作る場合、エンジンの組み立て、ボディの組み立て、板金塗装など色々な工程が必要で、多くの人がその中に関わってきます。どこか一つの工程が抜けても、自動車は完成しません。ですから、誰にでも判るその工程を記した工程表が必要になってきます。我々医療従事者なら、

「クリニカルパスって何？」皆さんには、耳慣れない言葉だと思ひます。「クリニカルパス」は以下パスと略します)とは、簡単に言いますと、入院患者様の治療工程を記した工程表を言います。喻えて言いますと、自動車を作る場合、エンジンの組み立て、ボディの組み立て、板金塗装など色々な工程が必要で、多くの人がその中に関わってきます。どこか一つの工程が抜けても、自動車は完成しません。ですから、誰にでも判るその工程を記した工程表が必要になってきます。我々医療従事者なら、



内科医師 堀田 孝裕

クリニカルパスの利点

当院で実施可能な質の高い医療、看護ケアを計画的に提供できます
患者様やご家族の方にわかりやすい医療を提供できます
必要な医療、看護ケアの確認と医療事故防止につなげます
チーム医療の促進と連携を図ることができま
業務の効率化と標準化された医療の提供が可能となります
患者様の満足度の向上と在院日数が短縮されます

クリニカルパスの定義

一定の疾患や疾病を持つ患者に対して、入院指導、患者のオリエンテーション、検査、ケア処置、検査項目、退院指導などをスケジュール表にまとめてあるもの

東京医科歯科大学医学部助教授 阿部 俊子

当院では現在23のパス(白内障、虫垂炎、糖尿病、胃ろう造設など多数)を完成させ、使用しております。今後、パスの種類を増やして、更に色々な病類に対応してゆくとともに、現在、当院の電子カルテ化に伴い、電子カルテでも使えるようなパスに改訂してあります。患者様に安心とご満足をお届けできるよう、よりよいパスを作るために、パス委員は日夜頑張っております。

